

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
330008	XZY3330008	2	前期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	2年
				情報文化学部情報文化学科	専門	選択必修	2年
日中関係論	佐藤 若菜			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
現代中国の農村や都市における人々の日常実践や語りをヒントに、中国側からの日本理解について検討する。ここから、日中関係を考える上で重要な歴史的、政治的、経済的背景についても理解する。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】ガイダンス 中国側からの日本理解を把握する重要性について 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。				第 9 回 【授】反日感情に向き合う(2) 領土問題 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。			
第 2 回 【授】中国少数民族と日本人のつながり(1) 日本人の文化的起源をめぐる論争 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。				第 1 0 回 【授】新たな対日観の諸相(1) 台湾・香港との比較から 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。			
第 3 回 【授】中国少数民族と日本人のつながり(2) 少数民族文化の商品化と日本との関係 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。				第 1 1 回 【授】新たな対日観の諸相(2) 日本を訪れる中国人観光客 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。			
第 4 回 【授】マスメディアからみた日本イメージ(1) 日本映画によって形成された日本人観 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。				第 1 2 回 【授】新たな対日観の諸相(3) 日本ブランドに対するイメージ 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。			
第 5 回 【授】マスメディアからみた日本イメージ(2) 抗日ドラマからみた日本人観 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。				第 1 3 回 【授】新たな対日観の諸相(4) 反日感情と親日感情が混在する論理 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。			
第 6 回 【授】改革開放政策と日本(1) 中国におけるインフラ整備と日本による支援 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。				第 1 4 回 【授】学生によるプレゼンとディスカッション 【前・後】関連資料を自ら調べ、プレゼンに備える。			
第 7 回 【授】改革開放政策と日本(2) 中国への技術協力から学ぶ日中交流のあり方 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。				第 1 5 回 【授】学生によるプレゼンとディスカッション 【前・後】関連資料を自ら調べ、プレゼンに備える。			
第 8 回 【授】反日感情に向き合う(1) 歴史問題 【前・後】講義内容を復習し、関連資料を自ら調べる。				第 1 6 回 【授】総括 【前・後】これまでの総復習を行う。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							25
宿題・授業外レポート							50
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							25
演習							
その他							
授業での発言頻度・内容、授業内レポート、授業外レポートによって評価する。授業外レポートは、複数の論文または書籍を読んで書くこと。							
教科書参考書							
教科書は使用せず、毎回資料を配付する。							
受講に当たっての留意事項							
特になし							
学習到達目標							
現代中国で日々起きていることを通して日中関係を考察する力を身につける。							
JABEE							

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習